

第 15 号

あ〜す・ねっく

報 界 連 資 日

日本再生資源事業協同組合連合会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-10-4F

TEL 03 (3295) 8551
FAX 03 (3295) 8552

發行人 福田啓治
編集人 佐藤和夫
印刷 (株)資源新報社

余剰問題への危機感強く

古紙循環プロジェクト集計進む

古紙循環プロジェクト（全国製紙原料商工組合連合会、日資連古紙ネット）では、全国三千二百余りの市町村に古紙リサイクルの現状を聞き、併せて古紙問題等の解決策をさぐることを目的にアンケート調査を実施した。以下は、さきごろまとめられた同アンケートの集計結果概要。

アンケートでははじめに、ある。が一二自治体と成している。」がもっとも多くなり、有効回答数一五四五の六一％を占めた。一方、自治体ごとの古紙リサイクルの現状について聞いておると、それについて「おおよべて民間回収」が合わせて「三四自治体」となり、官民連携という今後の古紙リサイクルの方向性を示すものとなっている。また、「市民団体による市民団体に助成している自治体で業者に對しても助成した

（分別収集）を実施している。」が八三八自治体、「すべて民間回収にお願いして」の助成の状況についての質問では、「市民団体に助

ごあいさつ

廣報委員長 佐藤和夫

日資連の機関紙「あゝす・れっく」が十五号を迎えることになりました。今年度も愛読よろしくお願い申し上げます。

今年度、委員も再編成され、新たな旅立ちの年となりました。やや立ち遅れましたが十月十三日、事務所において関東ブロック年間予定を立て、月末には近畿支部における広報委員会を開催致しました。今後は関東ブロックと近畿支部と連絡、調整を取りながら進めていく予定です。

記事の中身については各地の情報を積極的に取り入れ、全国版のイメージを強化していきたいと思っております。なことに引き続き開催した委員会の雰囲気はやる気に満ち溢れており、頼もしく感じました。

今年度の目標として、三回の発行と充実した紙面をお送りする所存ですが、どうかご支援のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

の経済的負担はできない」など。

「古紙の品目のうち、雜誌古紙（雑誌、ミックス古紙含む）の余剰問題についてどのように対応されるか」という問いでは、「一定期間、家庭備蓄を各自自治体と呼びかけ、集団回収や資源回収から、一時雑誌の回収を取り止める」が四九七自治体、「雑誌の需給が改善されるまで焼却処分する」が二七七自治体、「雑誌の

や「奨励金制度の統一化」
たものには「古紙価格の調整
「再生紙購入率・再生品利
用の義務化」、「環境負荷税
の導入」、「税制優遇措置の
導入」など国による制度整
備を望むものとなっている。

これについては、現行の
諸制度の枠内では、自治体
としてできる範囲のことは
十分にできているといが
各自自治体の思いが現れて
いるように思われる。

異常事態を解決するために、何らかの助成策や援助を行う」が九一五自治体となつた。

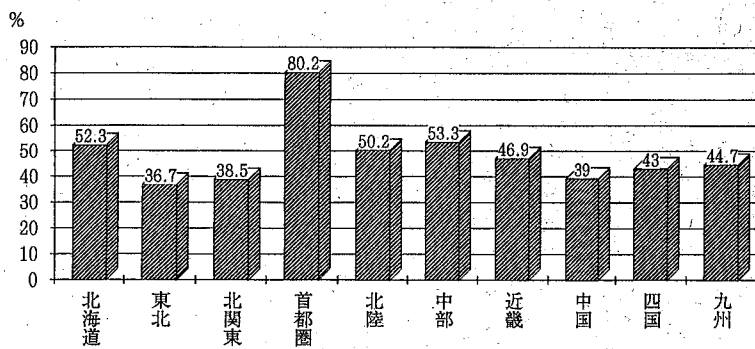
最後に、現在の古紙の状況を打開するための具体策提言を自由回答のかたちで求めたところ、最も多かった。

たものは「古紙価格の調整」や「奨励金制度の統一化」、「再生紙購入率・再生品利用の義務化」、「環境負荷税の導入」、「税制優遇措置の

導入」など国による制度整備を望むものとなっている。これについては、現行の諸制度の枠内では、自治体

としてできる範圍のこととは十分にしくしているといふ各自治体の思いが現れてゐるように思われる。

アンケート回答率(地区別)



全国規模での決起大会実施へ

第一回 古紙屑緊急対策実行委開かれ

第一回鉄屑・古紙緊急対策実行委員会が十一月八日（日）に日資連事務所会議室にて開かれた。

各地域の報告の合間にもさまざまな問題が提起され、その解決には一部地域だけでは対処できず、全国規模としてなにより国民に受け入れられるシステムの提言を表明するには日資連自身のも

関東はもとより、中部、
関西、四国、九州の各地よ
り参集した三千数名が会議
の対応の重要性が確認され
た。

昼食後、午前のそれぞれ
の報告を聞き、結果として、
全を聖めつくした。

会議冒頭で実行委員長に岡山の平林久一氏が選出された。

全国規模の決起大会を催すことが提案され、満場一致で採択された。

埼玉の佐々木耕司氏の司
会のもと、午前中は各地域
に於ける鉄屑と古紙の現状
進で窮状を訴えるだけでは

この不況下の国内世論を喚起できないとの意見が多く、多様なスタイルの決起大会が報告された。

さらに弱含みという惨状を
が提案されたうちの、「リ
サイクルコスト確立のシス
テムの構築（仮題）」を標
記して認識させられた。ま
だ、需給は古紙の一部品種

に於いて品薄感が見られる
が、おおむね供給過剰との
ことで、地域格差はほとん
どなかった。

しかし、行政、自治体そ
の他、

アンケート設問内容（抜粋）

設問Ⅰ.貴自治体の古紙リサイクルの現状はどうなっていますか。

1. 市民団体による集団回収を中心に実施。
 - a. 市民団体に助成している。 b. 業者に助成している。
 - c. 助成は一切していない。
2. ごみステーションを利用した行政収集(分別回収)を実施。
 - a. 回収作業は
(①直営で ②一般廃棄物業者委託 ③資源回収業者委託
④その他＝)
 - b. 選別加工作業は
(①行政施設で直営 ②行政施設で委託民間 ③民間施設に委託 ④その他＝)
3. すべて民間回収にお願いしている。

設問Ⅱ. 古紙の余剰が戦後最大規模になっていることについて

1. 十分認識している。2. 少しは知っている。3. 知らない。
- 設問Ⅲ. これからの古紙リサイクルコストは誰が負担すべきと
考えますか。
1. 従来通り製紙メーカーの製紙原料購入価格で補う（市場原理）。
 2. 製造業者の社会的責務（新聞社・出版社等）。
 3. 自治体・行政がごみ減量施策としてコスト責任する。
 - a. kg当たり5円以内
 - b. kg当たり10円以内
 - c. その他
 4. 古紙回収のための経済的負担はできない。

設問4. 古紙の回収業者、直納問屋価格とも殆どコストが確保できていない最も不採算な品目である雑誌古紙について、需給及び価格の改善のため、貴自治体としてどのように対応するか以下の中から一つ選んで下さい。

1. 一定期間の家庭備蓄
2. 雑誌の需給が改善されるまで焼却処分する。
3. 雑誌の異常事態を解決するために、何らかの助成策や援助を行なう。

設問Ⅴ. 古紙の需要状況の異常事態を開くため、何か提言があれば御提示下さい。(自由回答)



II 関資連第45回通常総会 II

一層の「団結」を強調
倉林 会長「業界環境の変化に敏速に対応し」



倉林会長



高野千葉県連青年部長

関東資源回収組合連合会(倉林喜一郎会長)の第四十五回通常総会が、九月二十七日に千葉県鴨川市内の「鴨川館」に於いて、一部六県の会員出席により開催された。

一、官民一体でリサイクル循環型社会作りを
二、都県環境行政と対応した地区組織を強化
三、関資連の拡充確保で

中、古紙回収状況を知って、いよいよ市町村があり、意識の高いのは関東圏であった。関資連は日資連の中核を担い、全国大同団結し、資源環境問題に対し、業界、行政、市民の三位一体の体制で対応していく」と意気込みを述べた。

議長に岩泉鐵取氏(千葉市理事長、副議長に川尻定夫氏(埼玉理事長)を

省資源、省エネルギーが進む中、ごみの排出量は横ばいですが、質の多様化、工場移転に伴う量の変化があります。最終処分場に依存しないため、ごみ減量化、再資源化、固形燃料化など、再利用促進などを広報啓蒙活動し、社会循環システム構築に向けて、容り法などに対して新たな対応、協調体制、積極的姿勢が必要となっていく。

「組合を通じて中小企業への振興、組織強化を進めている。十月には平成十一年度の予算検討となり、中小企業庁では大きな施策に取

も再生資源業界は、地球環境保全の観点に立ち、リサイクル二法及び容器包装リサイクル法を遵守しながら、新たな出発点としてより一行政並びに地方自治体の最

強化し、地域社会のリサイクル

創立40周年の節目に

埼玉県再生資源事業協同組合理事長 川尻定夫



川尻理事長

当組合は昭和三十四年九月創立以来、大きな節目である四十周年を迎えることとなり、去る九月二十日午後一時より、北与野駅前ホテル「アルサ清水園」に於いて、ご多忙の中、多数のご臨席の栄を賜り、ささやかながら組合創立四十周年式典並びに祝賀会を開催しました。

これも備に行政、各業界関係者を始め歴代理事長並びに諸先輩各位の努力の積み重ねの賜物と紙面を借りて衷心より深く感謝を申し上げます。

また、本会が盛会裡に終了出来たことは、快くご協力をして頂いた組合員各位と開会準備に携わったスタッフのお陰と改めて厚く御礼を申し上げます。行事も終わり、私は良いスツ



40周年記念祝賀会での鏡割のよう

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 萩原 右一

〒220-0023 横浜西区平沼1-40-17
モンテパルテ横浜311号室
TEL 045 (313) 6100・FAX 045 (313) 6161

東京都資源回収事業協同組合

理事長 紺野 武郎

〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1 東京資源会館
TEL 03 (3263) 3676・FAX 03 (3263) 3679

株式会社 サンウエスバ

代表取締役 原 幸男

〒502-0811 岐阜市若福町7-5
TEL 058 (231) 2362・FAX 058 (294) 2994

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 西本 仁

〒630-0226 生駒市小平尾町1491-1
TEL 07437 (7) 6017・FAX 07437 (7) 6886

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 伊井 治美

〒577-0014 大阪市西成区天下茶屋1-6-17
TEL 06 (661) 0770・FAX 06 (661) 7570

岡山再生資源事業協同組合

理事長 平林 久一

〒700-0973 岡山市下中野347-104 ヒラキンビル
TEL 086 (241) 6943・FAX 086 (241) 8485

栃木県資源回収事業協同組合

理事長 阿久津 守光

〒322-0035 鹿沼市朝日町1952-2
TEL 0289 (62) 2239・FAX 0289 (62) 2239

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 倉林 喜一郎

〒260-0015 千葉市中央区富士見2-22-6
富士ビル5階
TEL 043 (227) 8273・FAX 043 (227) 2033

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 川尻 定夫

〒338-0826 浦和市大久保領家343-7
TEL 048 (852) 9048・FAX 048 (852) 9048

『ピンチ』は『チャンス』 最新鋭リサイクル施設を見学して思うこと

さる十月八・九日に行われた新規事業創出支援事業に参加し、その中で見聞きたことについて感じ、考えたことを報告します。さるリサイクル法が私の認識と異なる点がある事と、識者の方からいろいろの意見をいただき、当分の無知を脱却し、今後の活動に活かしたいと思います。以下、その感想を述べさせていただきます。

「リサイクル法」の趣旨は、資源の有効利用と環境の保全にある。これは、誰もが認めることである。しかし、この法律が、実際の現場でどのように機能しているのか、という点については、私はこれまであまり詳しく知らなかった。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。



ウィズベトリサイクル(栃木)社屋前で

者や流通業界まで大手を軸に、すでに活発な主導権争いがある。リサイクル法が、現場ではどう機能しているのか、という点については、私はこれまであまり詳しく知らなかった。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。

「リサイクル法」の趣旨は、資源の有効利用と環境の保全にある。これは、誰もが認めることである。しかし、この法律が、実際の現場でどのように機能しているのか、という点については、私はこれまであまり詳しく知らなかった。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。

今後の運営方針を協議

関西での初広報委員会を開催

さる十月三十一日、広報員が出席、本部提案の委員会では奈良県に於いて「あす・れっく」西日本初めの試みである地方自治体新聞の発行、紙面割を調整、致し方なく、またこれからの広報委員会、またこれからの広報委員会の運営方針などを決定した。

業界用語あれこれQ&A

あす・れっくでは新連載では、業界専門用語が用いられ、理解しにくいことがあつた。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。

学問ノススメ

業界の若き諸君への提言

機資源新報社東北支局長 小松 崇明

「リサイクル法」の趣旨は、資源の有効利用と環境の保全にある。これは、誰もが認めることである。しかし、この法律が、実際の現場でどのように機能しているのか、という点については、私はこれまであまり詳しく知らなかった。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。

「リサイクル法」の趣旨は、資源の有効利用と環境の保全にある。これは、誰もが認めることである。しかし、この法律が、実際の現場でどのように機能しているのか、という点については、私はこれまであまり詳しく知らなかった。そこで、この機会に、最新のリサイクル施設を見学し、その実態を把握しようと思った。見学の場所は、埼玉県草加市の「リサイクルセンター」である。この施設は、最新の設備を備え、リサイクルの現場を、まるで工場のように見せる。ここでは、廃棄物の分別、選別、処理、再利用の工程が、高度な技術と設備を駆使して行われている。特に、プラスチックの処理は、驚くべき効率で行われており、資源としての価値を最大限に引き出している。この施設を見学したことで、私は「リサイクル」が単なる廃棄物の処理ではなく、資源の循環としての側面を強く意識した。また、現場の担当者から、最新の技術と設備の重要性、そして、社会の理解と協力の必要性についても学ぶことができた。この見学を通じて、私は「リサイクル」が、単なる義務ではなく、社会の持続可能性を支える重要な活動であることを改めて認識した。今後の活動に、この学びを活かすつもりである。